



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年1月31日

上場会社名 広栄化学株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4367 URL <https://www.koeichem.com/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 西本 麗
 問合せ先責任者（役職名） 経理室長（氏名） 鈴木 篤 (TEL) 03-6837-9304
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	13,174	11.6	1,048	112.1	1,072	57.3	794	13.2
2022年3月期第3四半期	11,809	△8.5	494	△61.8	681	△51.1	701	△49.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	162.42	—
2022年3月期第3四半期	143.46	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	40,752	22,155	54.4
2022年3月期	34,706	21,934	63.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 22,155百万円 2022年3月期 21,934百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2023年3月期	—	50.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,500	12.7	1,300	155.8	1,300	62.0	1,000	6.3	204.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期3Q	4,900,000株	2022年3月期	4,900,000株
2023年3月期3Q	8,883株	2022年3月期	8,883株
2023年3月期3Q	4,891,117株	2022年3月期3Q	4,891,166株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期貸借対照表	P. 4
(2) 四半期損益計算書	P. 6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策に係る行動制限の緩和など経済活動の正常化が進み、景気は持ち直しの傾向にあるものの、急速な為替相場の変動や長期化するウクライナ情勢による資源・エネルギー価格の高騰及び供給不足、世界的なインフレ傾向による物価上昇圧力の高まり等により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社は、売価是正、拡販に注力するとともに、生産の合理化・効率化等による一層のコスト削減に取り組み、全社を挙げて収益確保に努めてまいりました。

この結果、ファイン製品その他は樹脂関連製品等の販売が減少しましたが、医農薬関連化学品は欧州向けの医薬関連製品のほか農薬関連製品の出荷が増加し、機能性化学品は触媒関連製品の販売が増加したことにより、当第3四半期累計期間の売上高は131億74百万円（前年同四半期比11.6%増）となりました。利益面では、原燃料価格高騰や新設したファイン製品製造設備稼働に伴う減価償却費の増加等の減益要因があったものの、売価是正の一定の成果及び棚卸資産増加に伴う在庫負担固定費の増加などの増益要因により、営業利益は10億48百万円（前年同四半期比112.1%増）、経常利益は10億72百万円（前年同四半期比57.3%増）、四半期純利益は7億94百万円（前年同四半期比13.2%増）となりました。

（製品グループ別売上高）

製品グループ		前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		増減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減比
ファイン製品	医農薬関連化学品	(注) 4,455	37.7	5,554	42.2	1,099	24.7
	機能性化学品	5,287	44.8	5,784	43.9	497	9.4
	その他	(注) 2,066	17.5	1,835	13.9	△231	△11.2
	計	11,809	100.0	13,174	100.0	1,364	11.6

(注) 従来、医農薬関連化学品に含めていたα-ピコリンの売上高は、社内管理方法の見直しに伴い第1四半期会計期間からその他に含め表示しております。これに伴い、前第3四半期累計期間におけるα-ピコリンの売上高129百万円を、医農薬関連化学品からその他に組替えております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、売掛金が減少しましたが、棚卸資産及び未収消費税（流動資産その他）などが増加し、前事業年度末に比べ34億75百万円増加の163億57百万円となりました。

固定資産は、ファイン製品製造設備新設などによる有形固定資産の増加により、前事業年度末に比べ25億70百万円増加の243億94百万円となりました。

この結果、総資産は前事業年度末に比べ60億46百万円増加し、407億52百万円となりました。

(負債)

流動負債は、買掛金及び短期借入金の増加などにより、前事業年度末に比べ35億2百万円増加の95億36百万円となりました。

固定負債は、ファイン製品製造設備新設に係る長期借入金の増加により、前事業年度末に比べ23億22百万円増加の90億60百万円となりました。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べ58億24百万円増加し、185億96百万円となりました。

(純資産)

純資産は、四半期純利益の計上及び配当金の支払いなどにより、前事業年度末に比べ2億21百万円増加し、221億55百万円となりました。自己資本比率は前事業年度末の63.2%から54.4%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績見通しは、2022年10月31日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	277	599
売掛金	5,181	3,801
商品及び製品	3,433	5,896
仕掛品	1,693	2,698
原材料及び貯蔵品	1,565	1,970
預け金	300	-
その他	431	1,390
流動資産合計	12,882	16,357
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,255	8,729
機械及び装置（純額）	5,999	10,858
建設仮勘定	5,608	235
その他（純額）	2,919	3,692
有形固定資産合計	20,782	23,515
無形固定資産	124	112
投資その他の資産		
投資有価証券他	921	770
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	916	766
固定資産合計	21,823	24,394
資産合計	34,706	40,752
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,356	3,726
短期借入金	850	3,500
未払法人税等	76	206
受注損失引当金	44	68
賞与引当金	165	-
設備撤去引当金	21	-
その他	2,521	2,034
流動負債合計	6,034	9,536
固定負債		
長期借入金	4,400	6,750
退職給付引当金	1,865	1,913
受注損失引当金	100	80
その他	371	315
固定負債合計	6,737	9,060
負債合計	12,771	18,596

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,343	2,343
資本剰余金	1,551	1,551
利益剰余金	17,924	18,230
自己株式	△14	△14
株主資本合計	21,804	22,110
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	129	45
評価・換算差額等合計	129	45
純資産合計	21,934	22,155
負債純資産合計	34,706	40,752

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	11,809	13,174
売上原価	9,001	9,201
売上総利益	2,808	3,972
販売費及び一般管理費		
発送費	312	344
給料手当及び賞与	747	758
退職給付費用	48	47
試験研究費	707	727
その他	499	1,046
販売費及び一般管理費合計	2,314	2,924
営業利益	494	1,048
営業外収益		
受取配当金	28	6
為替差益	19	40
受取補償金	115	-
受取保険金	36	-
雑収入	6	3
営業外収益合計	207	50
営業外費用		
支払利息	17	24
雑損失	2	2
営業外費用合計	19	27
経常利益	681	1,072
特別利益		
投資有価証券売却益	372	106
特別利益合計	372	106
特別損失		
固定資産除却損	28	18
特別損失合計	28	18
税引前四半期純利益	1,025	1,160
法人税等	324	366
四半期純利益	701	794

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

1. 原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生する原価差異等につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動負債（その他）として繰り延べております。

2. 税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。